

# 丸型床下換気ガラリ 施工要領書

このたびは当商品をご使用いただき、誠にありがとうございました。

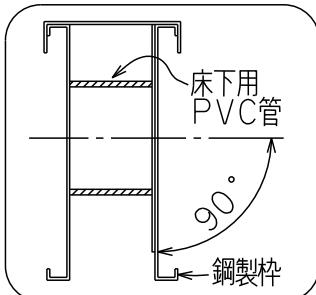
形状記憶合金を採用した自動・手動切替開閉式のタイプ〔R5〕、手動開閉操作式のタイプ〔R3〕および、常時開放のタイプ〔R1〕は、下記をご覧の上、正しく取付け施工を行なってください。

特にタイプ〔R5〕および、タイプ〔R3〕は、作動機構や精密な調整が施されているので、分解や乱暴な取扱いなどは、絶対に行なわないように注意してください。

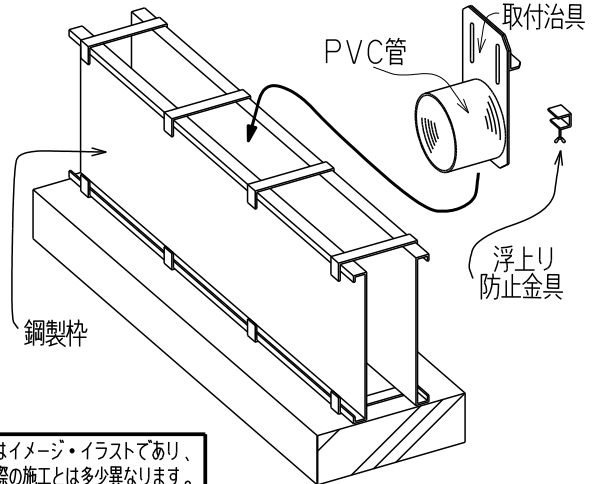
正しくご使用して頂くための施工要領と注意事項をご覧ください。

1. PVC管をセットした取付治具を鋼製枠内に入れて位置決めをおこない、浮上り防止金具で固定した後、コンクリートを流し込みます。

※ 布基礎へのPVC管取付け高さは、取付治具のアジャスタで調整してください。この時、製品上部と基礎天端の間が薄くなったり、製品下部が地面に潜り込む等の施工不良がないように注意してください。

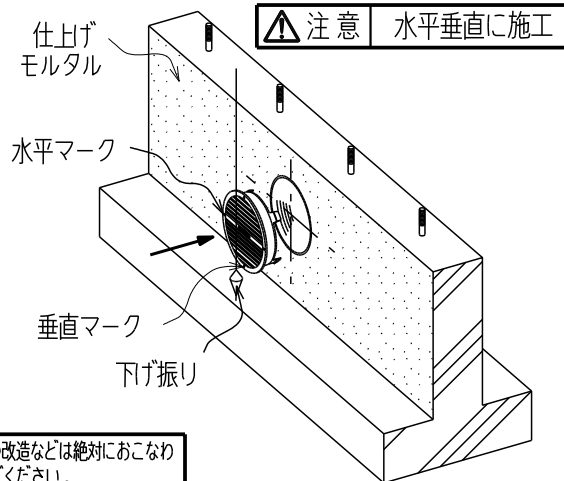
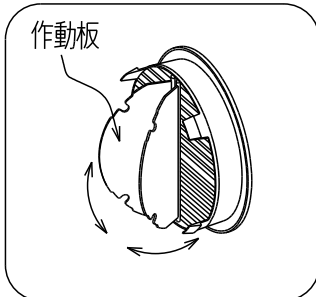


※推奨PVC管内径  
min205~max207mm



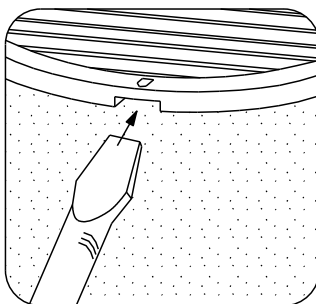
2. 鋼製枠および取付板を取り外した後、仕上げモルタルを塗布し、製品を上下間違いないように、下げ振りまたは水平器などで水平垂直を確認しながらPVC管へ正しく押し込みます。

※ R5とR3は、作動機構があるので取付け後に手動スイッチを用いて操作し、作動板が確実に開閉動作することを確認してください。尚、形状記憶合金付きのR5は気温の変動によって力の強弱が変動いたしますが異常ではございません。

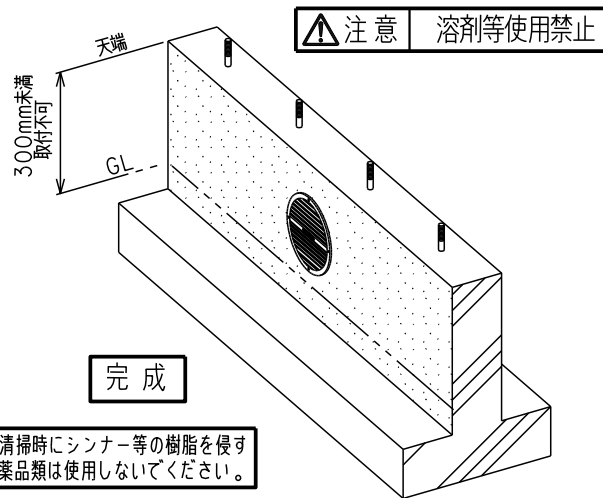


3. 製品が基礎モルタル面に接触するようにしっかりと押し込んでください。

※ あやまって、水平垂直を傾けて押し込んでしまった場合などは、製品の下側にある凹部にマイナスドライバーなど差し込んで取り外し、再度取付けをおこなってください。



特に形状記憶合金付きのR5は、水平垂直を正しく施工いただかないと、気温に対する動作性能に支障を来す場合がございます。



※改良のため予告なく変更する場合があります。

株式会社 佐原  
SAHARA JPN

ZAA001-FD01